

地域課題を地域で解決するための勉強会

—No.38 吉川市—

【事業の目的】

近年、自治会加入率の減少や災害対応・会員の高齢化など、地域に密接した存在であるからこそ自治会が抱える課題は多く、内容も多岐にわたっています。

しかしながら、このような課題は単独の自治会だけで解決するには限界があります。そこで、地域の課題を地域で解決するための方策を検討するため、市内95自治会の連合体である自治連合会と市との『協働』で勉強会を立ち上げ、地域課題を地域で共有し、地域住民が自ら、解決に向けた取り組みを実施していくことを目的としています。

【事業の内容】

地域の課題を地域で解決するための方策を検討するため、勉強会を立ち上げ、メンバーは自治会役員だけでなく、大学生、外国人、市民活動団体、学識経験者など約70名で構成され、多角的な視点で進めています。

令和元年度は、「地域減災」「多文化共生」「高齢者」「自治会課題」と4つのテーマに分かれて解決策の検討を行い、令和2年度も引き続き課題解決に向けて地域一体となって取り組んでまいりました。

【事業年度】

令和元年度～

【予算額(千円)】

300千円

【財源】

一般財源(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

吉川市では、様々な協働事業を展開し、これまで市民と行政が一丸となって

施策を進めてきました。

その中で、市内全95自治会で組織する吉川市自治連合会から「地域で抱える課題や解決策をもっと話し合いたい」という声が上がると同時に、「地域課題を地域住民が解決するための事業を」という市の思いがタイミングよく重なり、吉川市自治連合会と協働で研究していくこととなりました。

【事業のPRポイント】

今回の勉強会は、地域の課題を自分たちで解決していこうという自主性から行っている取り組みであり、地域の課題を地域で解決していくことで、住み良い地域づくり、まちの活性化へとつながることが予想されます。このように住民自らが課題を認識し、解決策を検討・実践する姿は、本来の地域自治の在り方そのものであります。

【事業実績・成果・今後の展開】

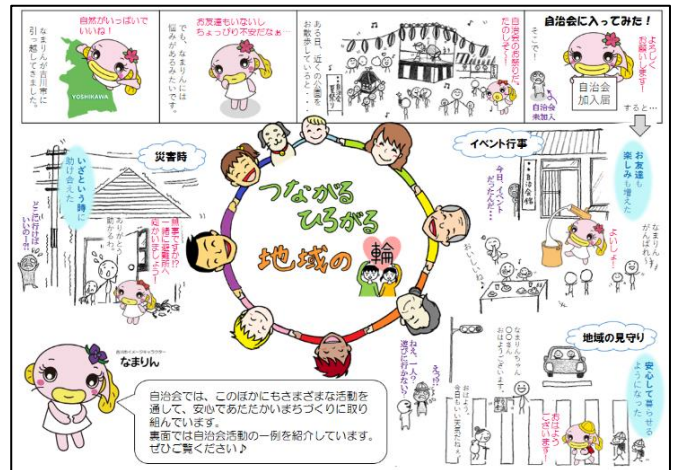
〈令和元年度〉

- ・全体会
大学教授による講義 53名参加
- ・分科会
アンケートを行い、「多文化共生」「地域減災」「自治会課題」「高齢者支援」の4つの分科会に分かれて実施。
- ・自治会加入促進チラシの作成
- ・自治会館及び備品リストの作成

〈令和2年度〉

- ・分科会
今年度は、新型コロナウイルスの影響により、人が集まる機会を設けることが難しかったため、Zoomを活用してウェブ会議を開催しました。県外のメンバーもZoomにより参加し、熱の込もった議論を交わすことができました。

【参考資料】



〔 連絡先 〕

市民参画推進課 市民参画係

048(982)9685(直通)